

第1回 練馬区立上石神井保育園保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和6年3月18日（月）午後2時～午後3時

練馬区職員研修所 2F 研修室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

- 1 開会 選定委員会委員長（こども家庭部長）あいさつ
選定委員会の設置について
委嘱状交付

- 2 議題
 - (1)練馬区立保育園の運営業務委託について
 - (2)選定方針について
 - (3)上石神井保育園の概要について
 - (4)募集要項および審査基準表について

- 3 その他
今後のスケジュールについて

- 4 閉会

第2回 練馬区立上石神井保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和6年4月19日（金）午前9時～午前11時

24日（水）午前9時～午前11時

上石神井保育園

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

- 1 開会
挨拶・委員紹介
- 2 園見学
- 3 閉会

第3回 練馬区立上石神井保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和6年6月5日（水）書面開催

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

1 一次審査について

一次審査基準表により、上位5事業者を二次審査の対象とした。

第4回 練馬区立上石神井保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和6年7月10日（水）午前10時～午前12時

練馬区役所本庁舎 12F 教育委員会室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

- 1 選定委員会委員長あいさつ
- 2 経営診断報告
事務局より経営診断報告の説明
経営診断結果により、応募事業者の経営状況について確認
- 3 現地調査部会報告
現地調査部会より、応募事業者が運営する保育園の運営管理、保育内容、
施設管理・環境整備、給食運営、保健業務の各項目について報告
- 4 二次審査（事業者の絞り込み）
二次審査では、提出書類や経営診断報告、現地調査報告に基づき、各応募事業者
を相対的に比較し、3事業者を最終審査の対象とした。
- 5 今後のスケジュールの確認

第5回 練馬区立上石神井保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和6年7月24日（水）午後1時45分～午後5時15分

本庁舎12階 教育委員会室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

1 応募事業者プレゼンテーション

運営業務委託に応募した3事業者によるプレゼンテーションを、それぞれ35分
（事業者のアピール10分・質疑応答25分）行った。

なお、上石神井保育園の保護者に後日公開するため、動画を録画した。

後日3名の保護者が視聴した。

《保護者からの質問事項に対する回答》

質問 保育の特色、特に力を入れていることは何か。

事業者A：（武蔵野緑会）

子どもの目線で見える保育を追求し、大切にしていること。

事業者B：

子どもに正解を与えない保育。

事業者C

何かに特化している訳ではない。子ども達の将来を広げるための思いがある。

質問 上石神井保育園を受託した場合、延長保育以外にどんなサービスを展開していきたいか。

事業者A：（武蔵野緑会）

まずは上石神井保育園の保育を引き継いで、実践していく。合宿やお泊り保育なども検討している。

事業者B：

一時預かりや地域の子育て支援を実施したい。卒園児を呼ぶ事業も考えている。

事業者 C :

今の上石神井保育園の保育を継承したい。引継ぎの中で、園の特色や保護者のために何が出来るのか模索していきたい。

質問 サブスクについての考えを聞かせて欲しい。

事業者 A : (武蔵野緑会)

サブスクは行っていない。希望があれば検討したい。

事業者 B :

保護者からの要望があれば行いたい。

事業者 C :

前向きに取り組みたい。

質問 上石神井保育園の安全対策をどのようにしていくか

事業者 A : (武蔵野緑会)

子どもの命を守るために、やらなければいけない危機管理対策はたくさんあると思う。マニュアルではなく現場の職員が考え方を共有していく。

事業者 B :

不審者対応について、特に力を入れたい。

事業者 C :

法人前提で危機管理委員会を設置している。各園からのけがや事故の情報等を全て集約し、各園へ情報提供して事故防止対策を行っている。

2 園長候補者等ヒアリング

運營業務委託に応募した3事業者に対するヒアリングを、それぞれ25分(園長候補者のアピール5分・質疑応答20分)行った。

第6回 練馬区立貫井保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

※ 貫井保育園の応募事業者プレゼンテーションおよび園長候補者等ヒアリングを実施した。

第7回 練馬区立上石神井保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和6年8月22日（木）午前10時～午前12時

本庁舎20階 交流会場

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

事業者の選定について

審査基準表の「A 提出書類等審査」、「B 現地調査・現地視察審査」、「C 園長候補者等ヒアリング審査」の項目ごとに評価し、事業者の選定を行った。

《主な意見》

事業者A：（武蔵野緑会）

- ・ 現運営園において安定的な保育が行われている。
- ・ 法人全体で保育環境の向上に取り組む姿勢が見られ、受託に対する熱意が感じられる。
- ・ 子どもが主体となり、きめ細かい対応ができるような保育方針となっており、整備環境も良好である
- ・ 園長候補は十分な経験と保育実績がある。

事業者B：

- ・ 子どもが自由に活動を選んで過ごしており、環境設定も適切である。
- ・ 法人として、積極的に新しい保育を取り入れようとする姿勢が見られる。
- ・ 乳幼児の保健・衛生面での改善が求められる。

事業者C：

- ・ 子どもたちは安定して過ごしている。
- ・ 防犯意識や、災害時の危機管理意識が高い。
- ・ 室内環境の設定など、更なる工夫が求められる。

評価の結果、最終審査を行った3事業者は、区の選定基準（1,000点中700点）を上回った。合議の結果、事業者A（社会福祉法人武蔵野緑会）を上石神井保育園運営業務委託候補事業者として選定した。